

2021年(令和3年)
9月7日(火)
第1370号

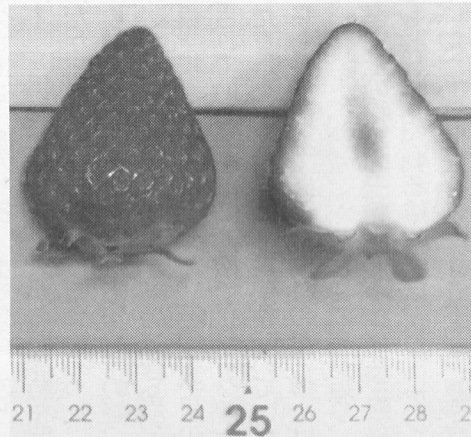
園芸新聞

発行所
株式会社園芸新聞社
〒180-0001 武蔵野市
吉祥寺北町4-7-13
電話 0422(51)8953
FAX 0422(55)7187
発行人 前田 彰 宏
購読料 1ヵ年 5,400円
振替 00130-2-85300

夏イチゴ 夏のしずく

農研機構が育成 寒冷地・高冷地向け

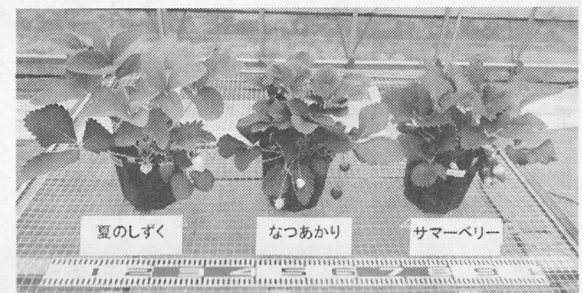
農研機構(東北農業研究センター)は、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県との共同研究により、寒冷地



平均1果重は10.2グラム

端境期に収穫可能なほか、輸送性や日持ち性に関する果実硬度が高いので、ケーキ等の業務需要に適している。

夏秋期にはアメリカなどから約3千トンのイチゴが輸入されているが、ケーキ店等の実需者からは国産イチゴが欲しいとの要望が以前からあった。国内の寒冷地や高冷地では冷涼な気候を活かして、夏秋期に主に業務用として果実を出荷する夏秋どり栽培が行われ、高単価販売による高収益経営が行われているが、収量性や日持ち性、輸送性などの改良が求められていた。



品種名	草姿	草勢	ランナー数(本/株)
夏のしずく	立性	かなり強	13.4
なつあかり	中	やや強	6.3
サマーベリー	立性	強	9.1

岩手県盛岡市における2014~2018年の平均値
ランナー数は7月上旬時点までの発生本数

花粉親とし「なつあかり」や「サマーベリー」より高く、011年にまた、糖度、酸度も高い、選抜に既存品種並みに高を重ねて、「夏のしずく」等の業務需要に適くを育成する。

四季成り性を有し、寒冷地・高冷地において、既存品種の1.4~2.4倍となる10㎡あたり3トンの収量が見込める。食味は良好で、輸送性や日持ち性に関する果実硬度が高く、ケーキ等の業務需要に適しており、東北地方などの寒冷地や高冷地で行われる「ツールジャパン」も開催され、すべての展示会を合わせると700社が出展する大規模な展示会となる。また、特別講演やスマート農業、SDGs、農家の売上アップ等々、役に立つ情報が得られる専門セミナーなど業界注目の全36講演を毎日開催する。

第11回農業Week開催

10月13~15日

千葉・幕張メッセで

農業に関するあらゆるにおいて開催される。商品展示して商談、農業ロボット、ドローン、IoTソリューション、太陽光発電、植物工場システムなど、物工場システムなど、旧社名リードエグジビションジャパン)が10月13日(水)から15日(金)の3日間、農業Week(主催)の4展で構成され、計400社が出展を予定している。

「ツールジャパン」も開催され、すべての展示会を合わせると700社が出展する大規模な展示会となる。また、特別講演やスマート農業、SDGs、農家の売上アップ等々、役に立つ情報が得られる専門セミナーなど業界注目の全36講演を毎日開催する。

「農業Week」は、農薬、育苗資材などの「農業資材EXPO」、食品加工機械、鮮度・衛生管理、検査・測定機器などの「6次産業化EXPO」、そして「畜産資材EXPO」の4展で構成され、計400社が出展を予定している。また同時開催で園芸用品やアウトドア製品などを出展する「ガーデンEXPO」と、工器具や作業服などが出展

施設園芸

—その時そこに—

①クラーク博士

施設園芸が今のように盛んになるには、多くの人々の努力が関係している。一つ一つの技術が世に出た「その時」にはその場に誰かがいたはずである。

日本の農業の父

クラーク博士がその一人である、ということには無理があるが、広く「日本の農業の父」と考えればあながち無茶なこじつけともいえまい。

いうまでもなくクラーク博士は、彼の有名な「少年よ、大志を抱け!」といったその人である。本人がいったのだから「その時そこに」博士がいたのは当たり前である。私がいいたいのは、それを誰がいつどこで聞いたかである。普通の人は札幌農学校を去る時に、見送りの人々にいったとされている話をなにかで読んだり誰かに聞いたりした、とするあたりのところであろう。私も普通の人であるからその話を信じていた。

だいたいこの話は今や歴史上の物語の一つだから、今更調べて見ても詳しい話が判るはずもない、と昔は思っていたがある時を境に思いもよらぬ展開を見せたのである。

別れの場所は?

別れの場所は札幌ではなかった。馬に乗って数人に送られ、島松(現在の北広島市島松、新千歳空港の近く)で別れたのが真相である。銅像のある北大でも、ましてや観光パスの行く羊ヶ丘でもなかったのである。

あの言葉は?

有名になってしまったから、「あの言葉」を変えたくはないが実は違う。本当は「少年よ大志を抱け!この老人のように」である。ここまでの話は少し詳しい歴史書なら書いてい書いている。素人の私が書いても大して

価値はない。本当に書きたいのはこれからである。

博士の声

博士の声を聞いた!となるとこれは大事件である。「その時そこに」私が居た!となると一番良いのであるが、さすがにそれはないでしょう。「その時」は明治10年4月であるから、私の祖母が5才である。私ではないが「その時」その声を聞いた人が数人はいいたはずである。ふとしたことから私はその中の人から直接話を聞いた、という人の講演を聞く機会があった。

昭和27年の夏、大学の講演会で京都大学農学部近藤金助先生の農芸化学の話聞いた。その中でこの話が出た。先生の先輩が島松でクラーク博士を送った一人で、直接あの言葉を聞いていたのである。その人によると別れの際、博士は馬に乗って2〜3歩行ったときに振り返り、あの言葉を云った。「Boys, be ambitious! like this old man」(ボーイズ、ヒーアインビジャスライクデイソールドマン・少年よ大志を抱け!この老人のように)

どうです!この話を読むと皆さんも私のように歴史上の出来事が身近なことを思えませんか?その時そこに居たのではないにしても。

後日談 —その時そこに—

芥川龍之介が—

クラーク博士が教頭として明治9年7月から10年4月まで在籍した札幌農学校は、後に北海道大学農学部となるのだが、その一期生であった人が私の農業高校時代の先生であった。先生の自分史によると入学当時クラーク博士はすでに有名で、多くの人が第1回北大入試に応募したらしい。面白いのはその入試

農研機構フェロー 新井和夫



1933年長野県生まれ。1956年三重大学農学部卒業。農林水産省に入省し、野菜茶業試験場久留米支場栽培研究室長、生理第一研究室長、盛岡支場長を務め1991年退職。野菜の栽培生理学を専門とし、それらに関する研究多。

問題のことである。どうしたわけか第1回北大農学部の入試問題がその後東京大学の掲示板に張り出されたらしい。通りがかったあの芥川龍之介が日誌に書いている。曰く、「北大農学部の入試問題が張り出されていた。読んでみると、たいそう易しい!」失礼な物言いとは思いますが、それも芥川がそこに居るようで「たいそう面白い」。

駄文はこのくらいにして次回から標題の施設園芸と関係の深い、皆さんに少しでも参考になる「その時そこに」を書いていこうと思う。(次号につづく)



とり1876年(明治9年)6月に来日。その年に開校した札幌農学校(現北海道大学)の初代教頭に就任する。授業は全て英語で行われ、土をつくり、草を育てることを基本とした循環調和型の農業を教えた。翌年、マ

アメリカ人の教育者ウィリアム・スミス・クラーク(1826~1886)で化学、植物学、動物学、サチューセツ農科大学の教師。1876年学長の職に就任するためマサチューセツ農科大学の学長に就任。北海道の開拓事業をつた一行と島松で別れたかざぐる開拓使の要請により1年間の休暇を葉を残している。

3か月予報&生育見通し

気象庁は9月3日ではほぼ平年並だが、9月(9月~11月)の天候は暖かい空気に覆われや見通しを発表した。すい時期がある見込気温は北・東・西日本。降水量は、全国的

にはほぼ平年並となる。年と同様に晴れの日が多い。

9月 北・東日本と西日本日本海側では、天候は数日の周期で変わる。西日本太平洋側は、平年と同様に晴れの日が多い。

10月 北・東日本は、天気は数日の周期で変わる。西日本では、天気は数日の周期で変わる。西日本太平洋側は、平年と同様に晴れの日が多い。

11月 北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨が多い。北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。

12月 北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨が多い。北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。

1月 北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨が多い。北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。

2月 北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨が多い。北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。

3月 北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨が多い。北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。

4月 北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨が多い。北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。

5月 北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨が多い。北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。

6月 北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨が多い。北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。

7月 北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨が多い。北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。

8月 北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨が多い。北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。

9月 北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨が多い。北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。

10月 北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨が多い。北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。

11月 北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨が多い。北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。

12月 北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨が多い。北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。

1月 北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨が多い。北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。

2月 北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨が多い。北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。

3月 北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨が多い。北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。

4月 北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨が多い。北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。

5月 北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨が多い。北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。

6月 北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨が多い。北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。